

## ■2017年度 東海支部研究集会シンポジウム

「建築施工のこれからは? —建築・土木分野における施工の情報化の現状と今後—」

近年、建築分野では BIM を活用した施工モデリングが設計～施工段階で実施されるようになり、土木分野では国土交通省が i-Construction を推進しようとするとともに CIM を活用した設計～施工の検討が行われるようになりました。このような情報化技術を用いることによって建築の施工はこれからどのように変わっていくのでしょうか。建築分野では BIM による工構法の研究に携わっている先生と構造設計においてデジタルエンジニアリングを活用されている実務者の方に、土木分野では土工事における i-Construction の展開に携わっている方に現状と今後の展開をお話しいたします。各分野での情報化技術の活用を理解するとともに、これからの施工の情報化に関してその発展や課題を会場の皆様と共に考えたいと思います。

主催 : 東海支部材料施工委員会

日時 : 2018年2月19日(月) 14:00～17:00

場所 : 名古屋大学 ES 総合館 2階 025 教室

参加費/申込み : 参加費無料 / 申込みは不要・当日先着順にて

プログラム

司会・進行: 瀬古繁喜 (材料施工委員会委員長 愛知工業大学)

14:00～14:05 支部長挨拶: 鈴木賢一 (名古屋市立大学)

14:05～14:15 趣旨説明: 瀬古繁喜 (前出)

14:15～14:40 BIM による建築プロジェクトの運営について: 志手一哉 (芝浦工業大学)

14:40～15:05 コンピューテーションを用いた構造設計におけるデジタルエンジニアリング: 田村尚土 ((株)ディックス構造設計部)

15:05～15:30 土木分野の土工事における i-Construction の活用: 岡田雅史 ((株)小林コンサルタント)

15:30～15:45 休憩

15:45～16:50 討論: 「これからの施工の情報化」 進行: 瀬古繁喜 (前出)

パネラー: 志手一哉、田村尚土、岡田雅史

16:50～17:00 まとめ: 寺西浩司 (名城大学)

記録: 平岩 睦 (名城大学)

※このシンポジウムは「建築CPD情報提供制度」で3単位認定プログラムです。